

横浜市敬老特別乗車証（敬老パス）制度に関する
利用者アンケート調査結果

令和元年 12 月

I 調査の概要

1 調査目的

敬老特別乗車証の利用状況の調査を目的とする。

2 調査期間

令和元年 9 月 2 日～令和元年 10 月 11 日

3 調査方法

敬老特別乗車証利用者に対して郵送を行う納付書や引換券に、利用者アンケート調査票を同封し、納付書・引換券と共に調査票を郵便局や区役所で回収を行う。

4 調査対象者

敬老特別乗車証利用者約 41 万人。

5 回収結果

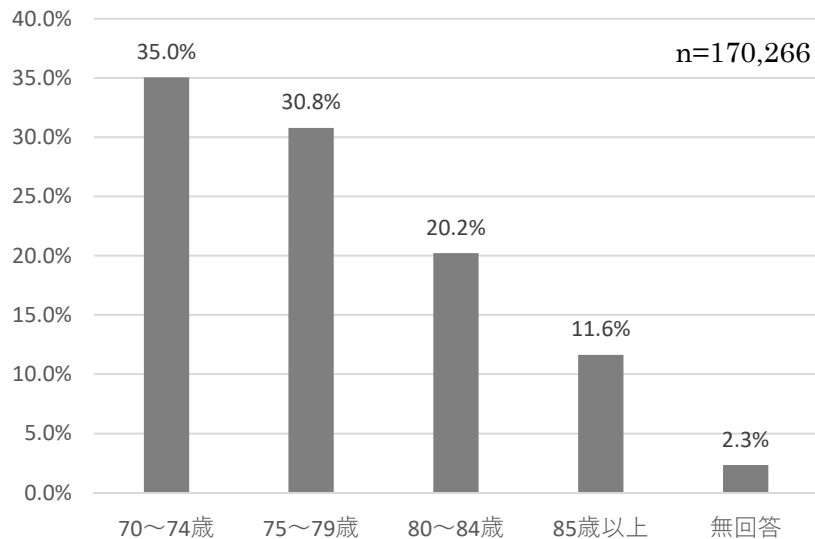
回収数は 170,226 人で、回収率は 41.5%。

Ⅱ 調査の結果

1 回答者の現在の状況について

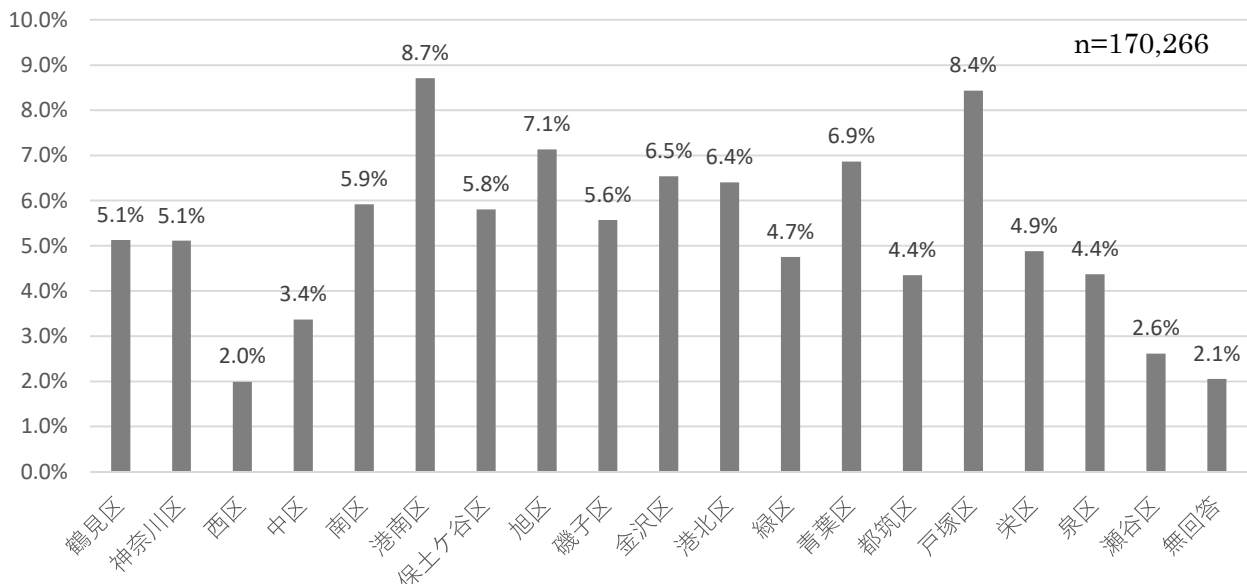
(1) 年齢（満年齢）

「70～74歳」が35.0%と最も多く、次いで「75～79歳」が30.8%、「80～84歳」が20.2%となっています。



(2) 居住区

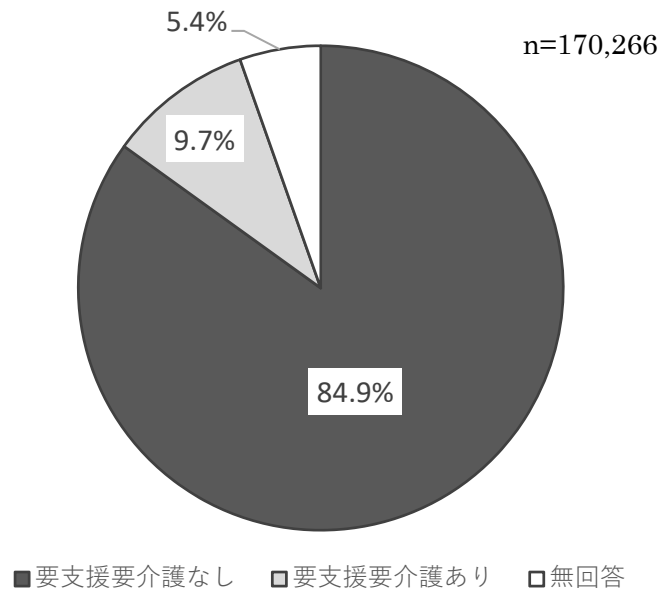
「港南区」が8.7%と最も多く、次いで「戸塚区」が8.4%、「旭区」が7.1%となっています。



(3) 要支援要介護認定

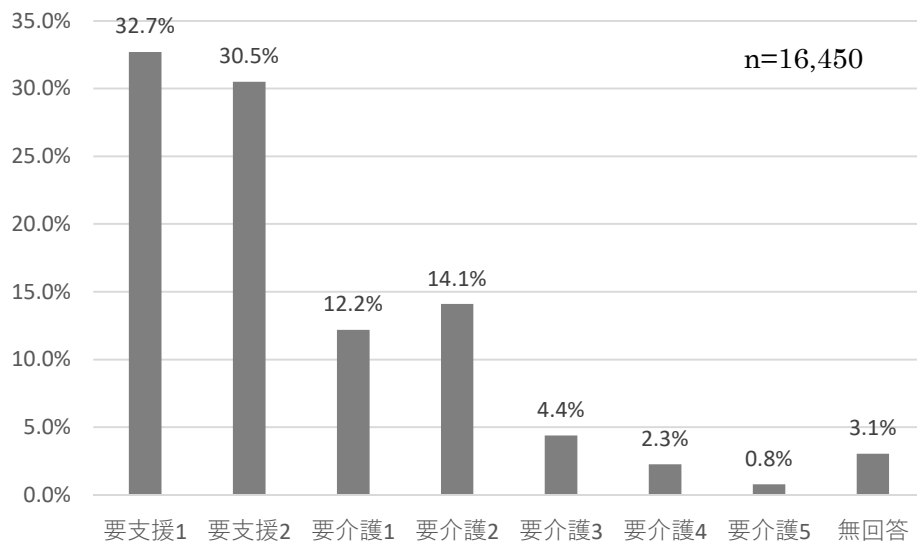
○要支援要介護認定の有無

「要支援介護なし」が84.9%、「要支援介護あり」が9.7%となっています。



○要支援要介護認定の区分

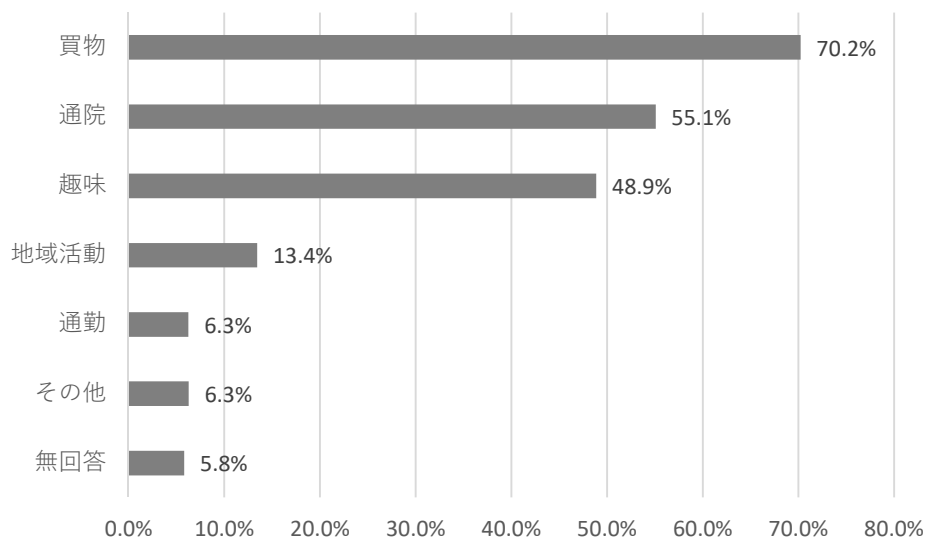
「要支援1」が32.7%と最も多く、次いで「要支援2」が30.5%、「要介護2」が14.1%となっています。



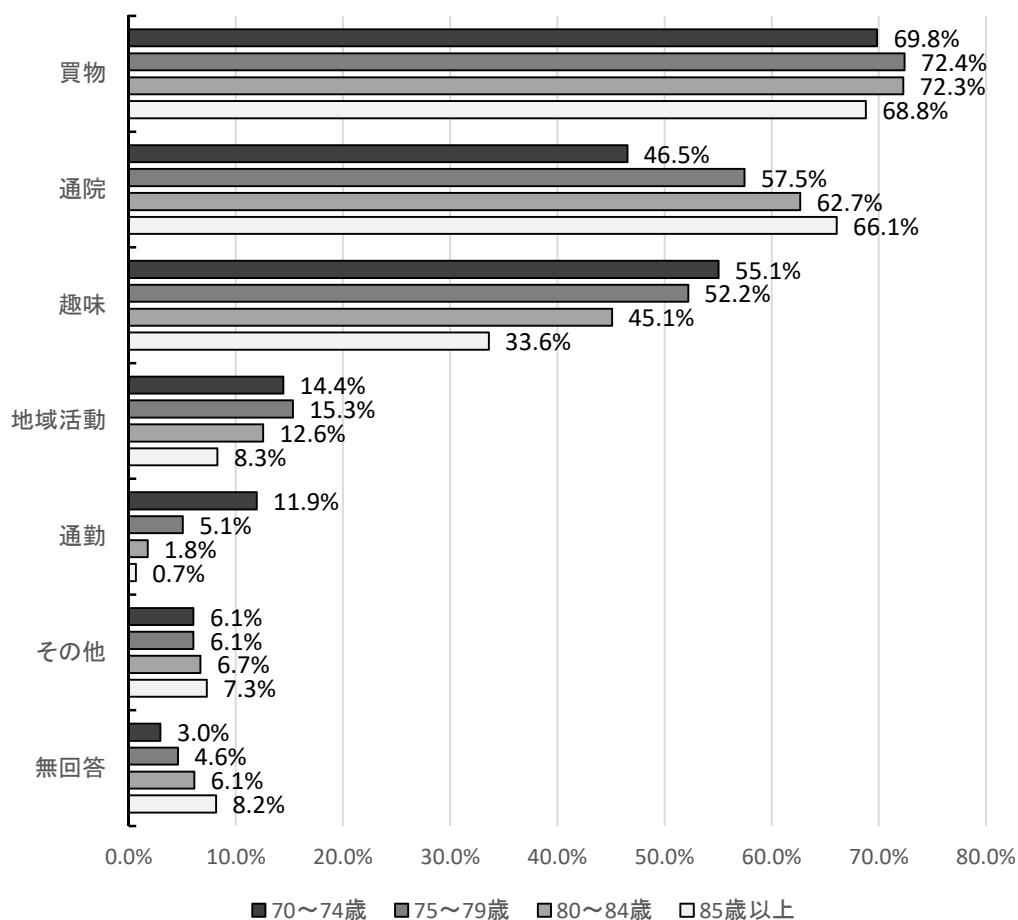
2 敬老特別乗車証の利用状況について

(1) 主な利用用途（複数選択可）

「買物」が70.2%と最も多く、次いで「通院」が55.1%、「趣味」が48.9%となっています。



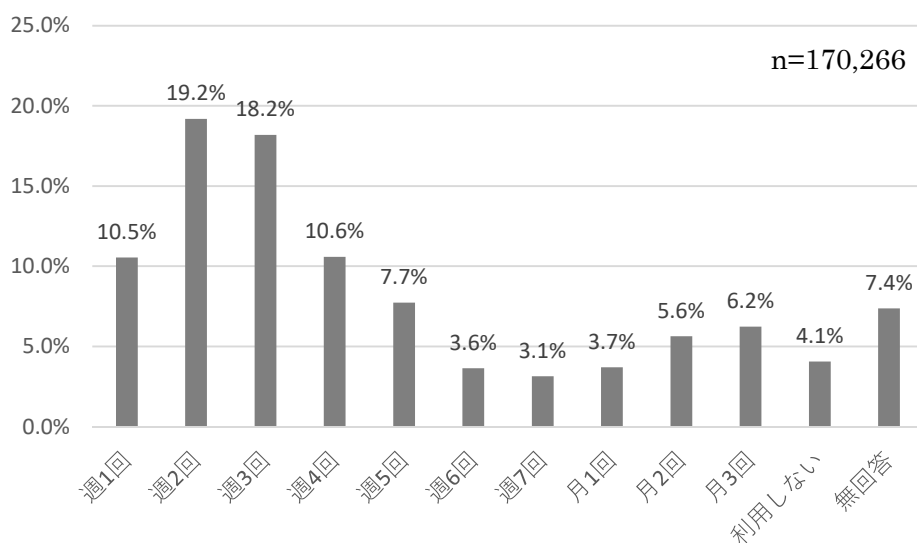
主な利用用途について、年代階層別にみると、「通院」による利用は加齢と共に多くなる傾向があり、「趣味」「地域活動」「通勤」による利用は加齢と共に少なくなる傾向が見られます。



(2) 令和元年8月中に交通機関を利用した回数（詳細な分析は p. 7 以降に記載）

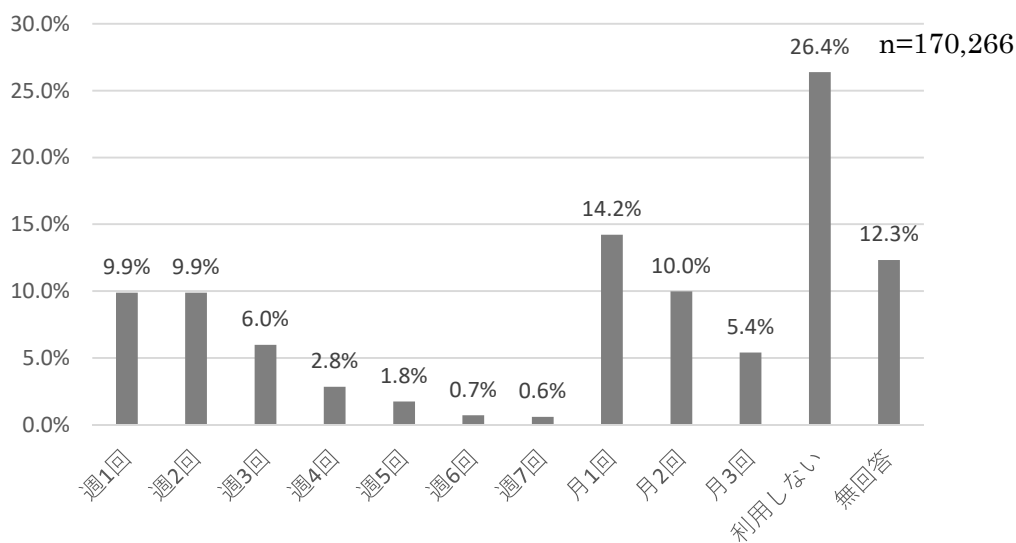
○乗合バス（市営・民営バス合わせて）の利用回数

「週2回」が19.2%と最も多く、次いで「週3回」が18.2%、「週4回」が10.6%となっています。



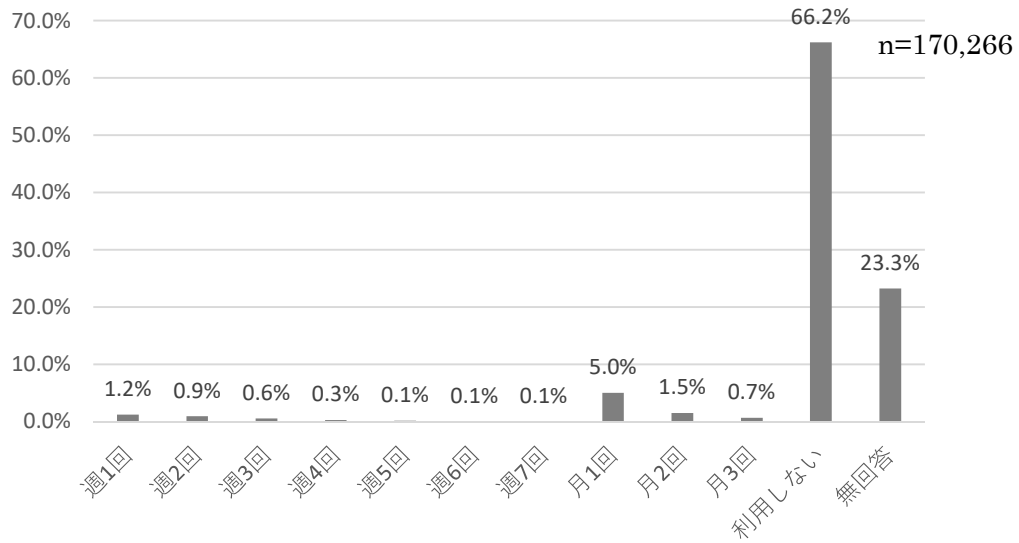
○市営地下鉄の利用回数

「利用しない」が26.4%と最も多く、次いで「月1回」が14.2%、「月2回」が10.0%となっています。



○金沢シーサイドラインの利用回数

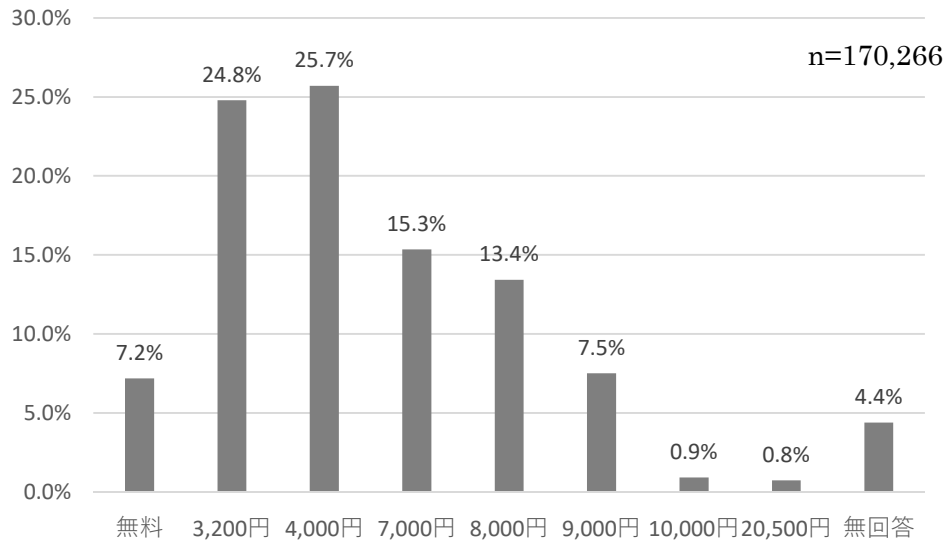
「利用しない」が66.2%と最も多く、次いで「月1回」が5.0%、「月2回」が1.5%となっています。



3 敬老特別乗車証制度について

(1) 回答者の敬老特別乗車証の利用時の一部負担金額

「4,000円」が25.7%と最も多く、次いで「3,200円」が24.8%、「7,000円」が15.3%となっています。



Ⅲ 敬老特別乗車証の利用状況

1 一月あたりの各交通事業者の利用回数

乗合バスは一月あたりに合計で 3,223,714 回利用されており、一人あたりの利用回数の平均は 19.76 回となっている。次いで市営地下鉄は一月あたりに合計で 1,208,372 回、一人あたりの利用回数の平均は 7.41 回、金沢シーサイドラインは一月あたりに合計で 135,432 回、一人あたりの利用回数の平均は 0.83 回となっている。

	一月合計 A ※1	有効回答数 B ※2	月利用回数 A/B
乗合バス	3,223,714回	163,131人	19.76回
市営地下鉄	1,208,372回		7.41回
金沢シーサイドライン	135,432回		0.83回

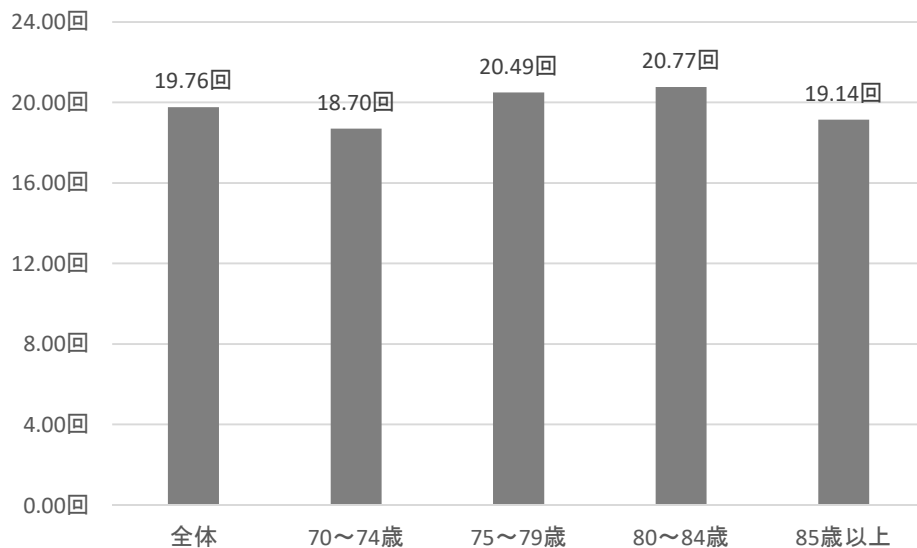
※1 1往復を1回としたため、「週1回」の場合は月8回、「週7回」の場合は月56回の乗車として算出した。

※2 総回答数 170,266 件から、乗合バス・市営地下鉄・シーサイドラインいずれの交通機関も未回答だった 7,135 件を除いた 163,131 人を有効回答数とした。

2 年齢区分から見た各交通事業者の利用回数

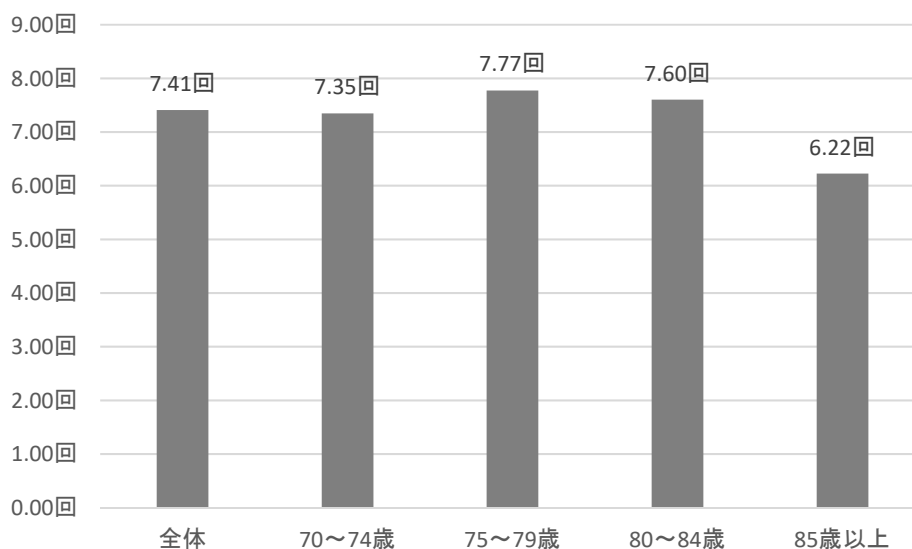
(1) 乗合バス（市営・民営バス合わせて）の利用回数

乗合バスの利用回数を年代階層別にみると、「80～84歳」が 20.77 回と最も多く、加齢と共に利用回数が増える傾向が見られますが、85歳以上では減少しています。



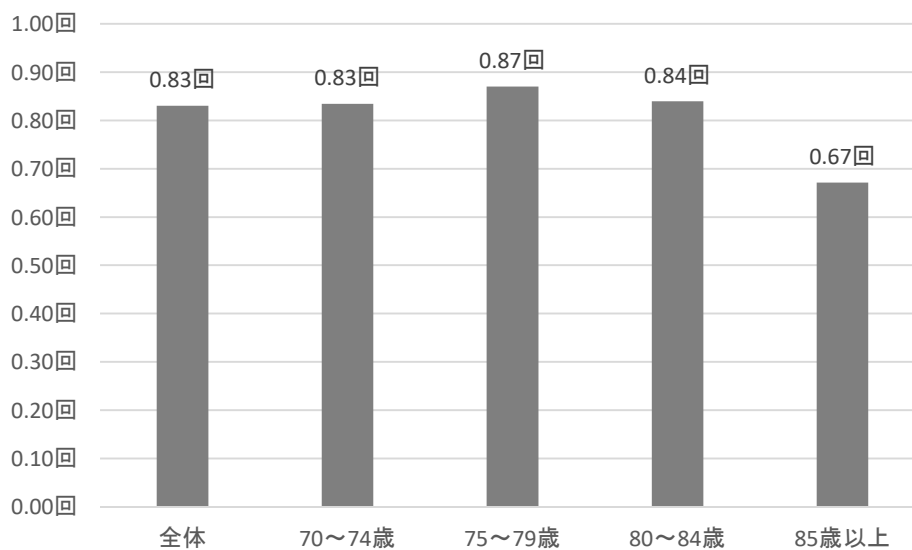
(2) 市営地下鉄の利用回数

市営地下鉄の利用回数を年代階層別にみると、「75～79歳」が7.77回と最も多くなっています。



(3) 金沢シーサイドラインの利用回数

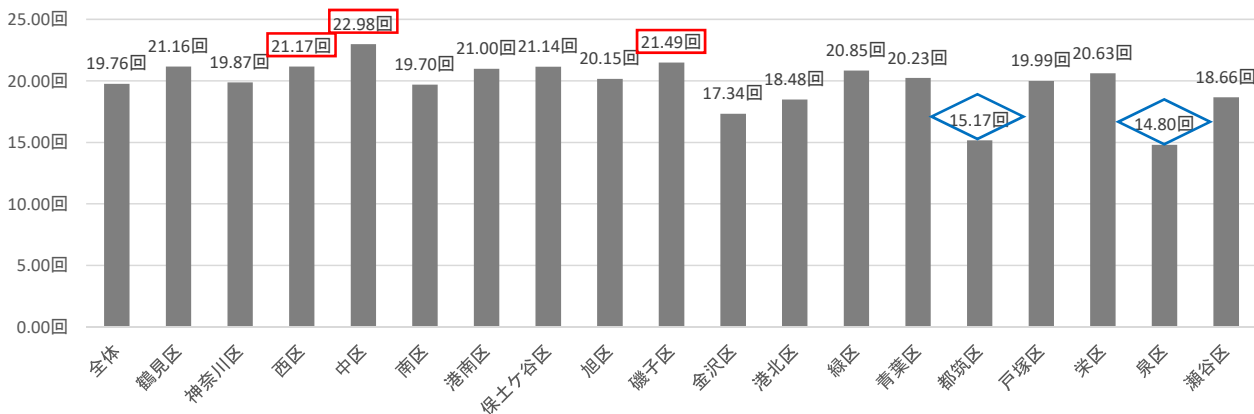
金沢シーサイドラインの利用回数を年代階層別にみると、「75～79歳」が0.87回と最も多くなっています。



3 居住区から見た各交通事業者の利用回数

(1) 乗合バス（市営・民営バス合わせて）の利用回数

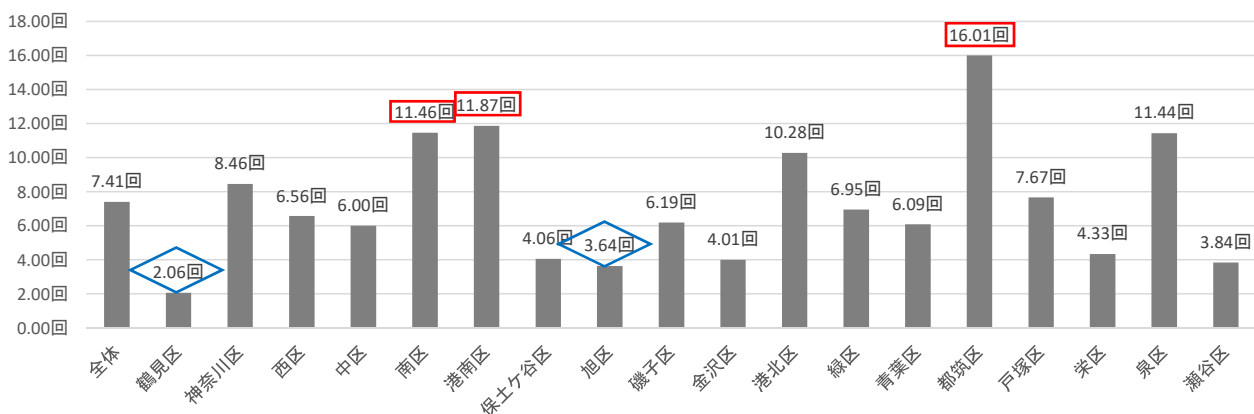
「中区」が22.98回と最も多く、次いで「磯子区」が21.49回、「西区」が21.17回となっています。また、「泉区」が14.80回、「都筑区」が15.17回となっており、平均利用回数19.76回と比較すると少なくなっています。



(2) 市営地下鉄の利用回数

「都筑区」が16.01回と最も多く、次いで「港南区」が11.87回、「南区」が11.46回となっています。駅の数が多い区は平均利用回数も多くなる傾向があり、市営地下鉄を日常的に利用しやすい環境であることが理由と考えられます。

一方、「鶴見区」が2.06回、「旭区」が3.64回など、全体の平均利用回数7.41回と比較すると半分以下となる区が複数存在します。これらの区は市営地下鉄が通っておらず、日常的にあまり利用しないことが理由と考えられます。

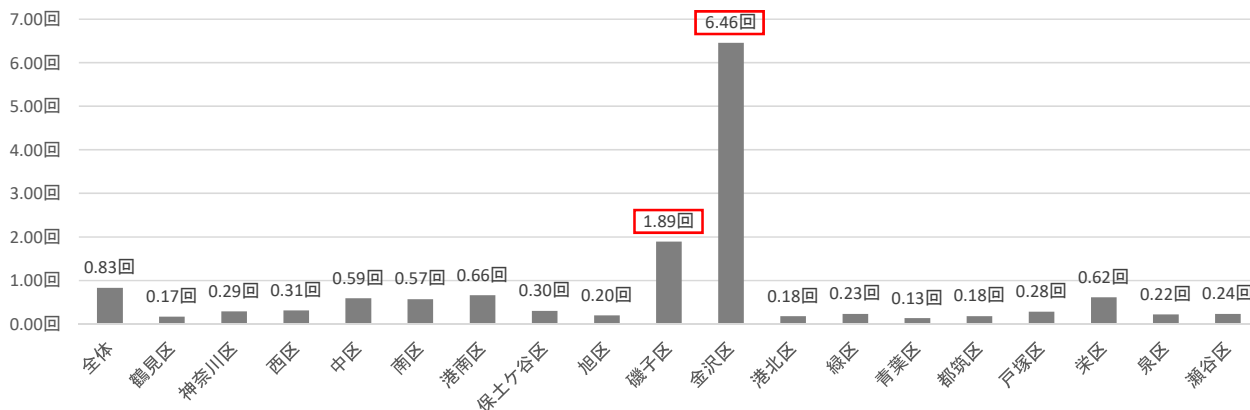


(参考) 市営地下鉄駅数

区	駅数
全体	39
鶴見区	0
神奈川区	3
西区	2
中区	4
南区	3
港南区	4
保土ヶ谷区	0
旭区	0
磯子区	0
金沢区	0
港北区	7
緑区	1
青葉区	1
都筑区	8
戸塚区	2
栄区	0
泉区	4
瀬谷区	0

(3) 金沢シーサイドラインの利用回数

「金沢区」が6.46回と最も多く、次いで「磯子区」が1.89回となり、全体の平均利用回数0.83回を大きく上回っています。金沢シーサイドラインは磯子区の新杉田駅から金沢区の金沢八景駅間の路線であるため、日常的に利用するのは磯子区と金沢区に住む方に限られることが理由と考えられます。



(参考) 金沢シーサイドライン駅数

全体	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区
14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0